

アブラゼミ

寄せられたぬけがらの数：60 個体
採集地点数：27 地点

主に平地の公園などで発生します。場所によっては、今年は昨年に比べて発生個体数が少なかったようです（4 ページのコラムを参照）。



コエゾゼミ

寄せられたぬけがらの数：110 個体
採集地点数：83 地点

森林に多いセミで、山地から多数見つかっています。平地の住宅地や市街地の公園から見つかりました。



エゾゼミ

寄せられたぬけがらの数：30 個体
採集地点数：24 地点

平地から低山地にかけて見つかります。札幌市東部に多いようです。



アカエゾゼミ

寄せられたぬけがらの数：3 個体
採集地点数：2 地点

昨年と同じ場所から見つかり
ます。エゾゼミの多い札幌市東部からは
まだ見つかりません。



エゾハルゼミ

寄せられたぬけがらの数：67 個体
採集地点数：50 地点

主な発生環境は森林で、山地に広く分布しますが、平地で鳴き声が聞かれることもありました。



ミンミンゼミ

寄せられたぬけがらの数：1 個体
採集地点数：1 地点

今年も定山溪温泉から“ぬけがら”が見つかりました。鳴き声は定山溪温泉のほか定山溪白井川や小樽内川、北海道大学でも聞かれました。



ツクツクボウシ

寄せられたぬけがらの数：3 個体
採集地点数：3 地点

昨年、“ぬけがら”が見つかった場所の周辺でも見つかりました。真駒内公園とその周辺で鳴き声がよく聞かれました。



2010 年のセミの発生量

昨年はエゾハルゼミやアブラゼミがたくさん発生していましたが、今年は少なかったと感じませんでしたか？同じ場所で、その年に見つかった“ぬけがら”の数を比べてみると、今年は昨年に比べて発生量が少なかったのかどうかわかります。南区の真駒内公園での一例を紹介します。

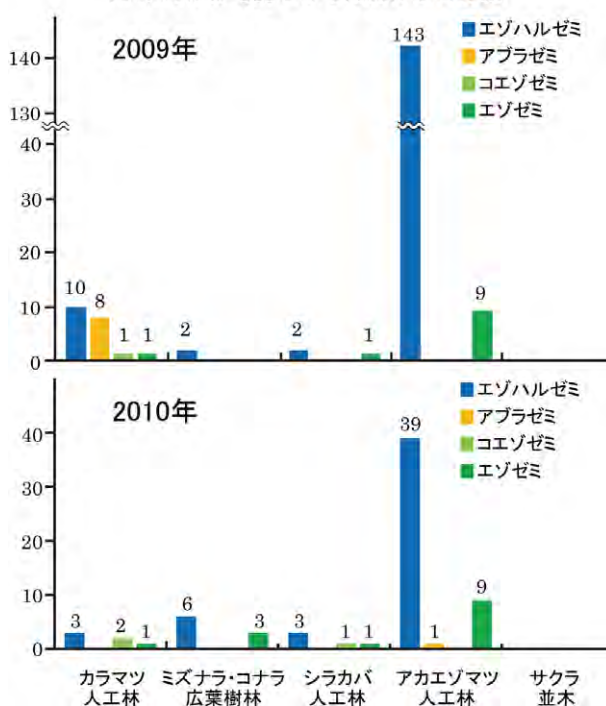
2009 年に真駒内公園でセミの発生量を調べてみましたが（さっぽろセミ通信 No.3 を参照）、今年も公園内の同じ場所で調べてみました。5 か所それぞれで 2009 年に調べたのと同じ木（10 本）を調べ、木の根元と樹上にある“ぬけがら”をすべて集めました。（調査は 6 月、7 月、8 月に 1 回ずつ実施）。

2009 年と 2010 年の調査結果のグラフを右に並べてみました。エゾハルゼミはアカエゾマツ人工林で最も多く発生していましたが、今年は昨年の 3 分の 1 以下の発生量でした。また、昨年はアブラゼミがカラマツ人工林で見つかっていましたが、今年は 1 匹も見つかりませんでした。一方、広葉樹林ではエゾハルゼミとエゾゼミが昨年より多く発生していました。

全体的には発生量は減少していましたが、林の環境やセミの種類によって発生量の変化の仕方は違うようです。大阪市内のある公園での長年にわたる調査では、セミの発生が多い年と少ない年が交互に繰り返されるということが観察されています¹⁾。札幌市ではセミの発生量はどうに変動しているのでしょうか？その変動は猛暑や冷夏と言った気象条件と関係があるのでしょうか？もう少し多くの場所で同じような調査を継続して見る必要がありそうです。2008 年は非常に少ない、2009 年は多い、2010 年は少ない…。さて、来年はセミが多い年になるのでしょうか？（TK）

1) 沼田英治・初宿成彦（2007）都会にすむセミたち—温暖化の影響？—。海游舎。

10 本の木から見つかったぬけがらの数



札幌市博物館活動センター

〒060-0001

札幌市中央区北 1 条西 9 丁目

リンケージプラザ内 5 階

TEL 011-200-5002

FAX 011-200-5003

<http://www.city.sapporo.jp/museum/>

編集後記

最近、木の枝に“セミが産卵した痕跡”らしきものを見つけました。枝の中の卵を見ただけではまだ断定できませんが、札幌市セミ調査ではまだ“ぬけがら”が見つからない“あるセミ”のものだと予想しています。もしかしたらそのセミの羽化や“ぬけがら”が見られるかもしれないので、来年の夏が待ち遠しいです。

ただいま、“ぬけがら”が見つかった環境や鳴き声のデータを集計して分析しています。今後は 2008 年から 2010 年までの 3 年間の調査結果をまとめていく予定です。（TK）